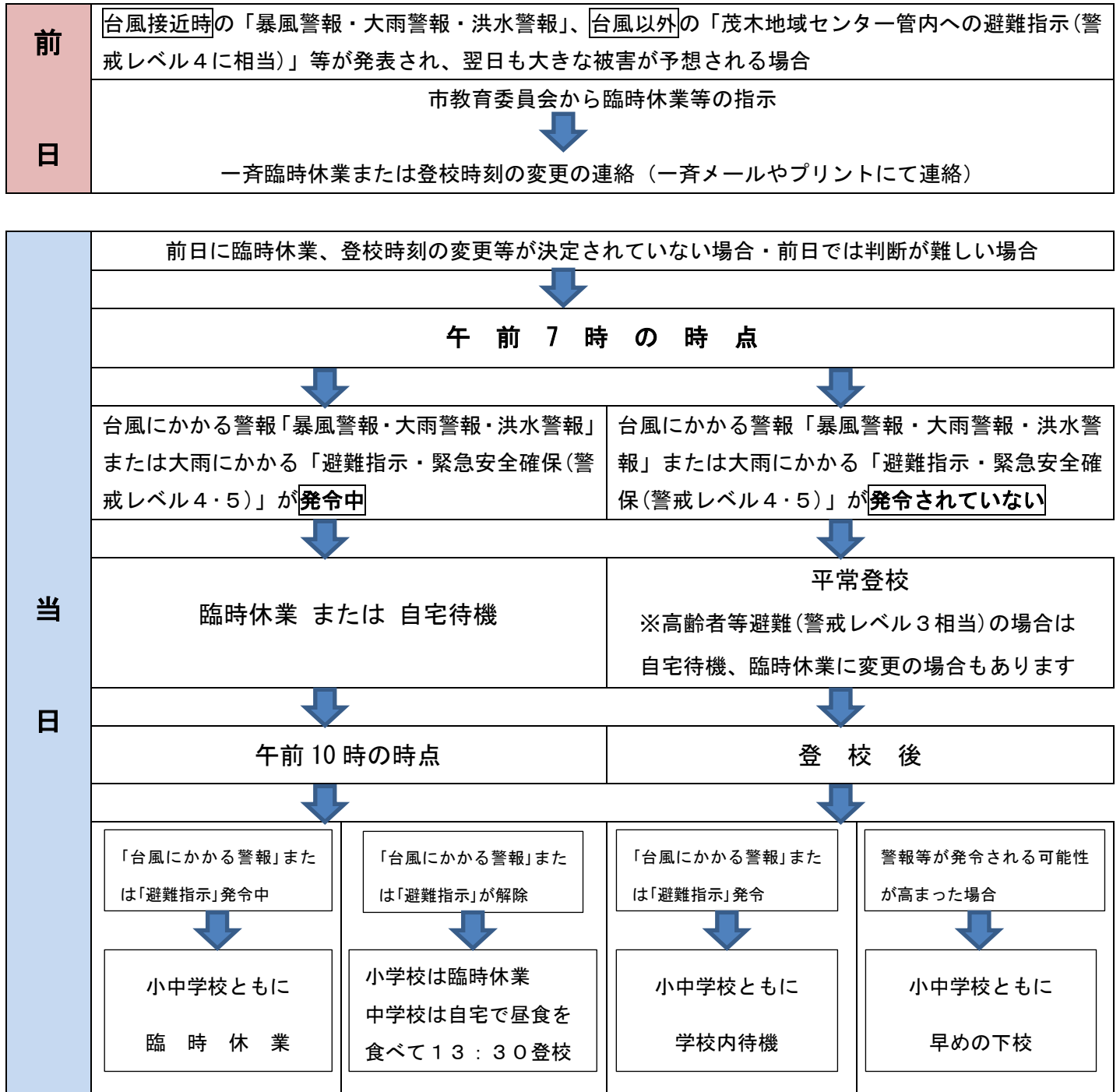


台風による警報「暴風・大雨・洪水」または
大雨にかかる「避難指示」に伴う登校のガイドライン



☆臨時休業や自宅待機の連絡は、前日か、当日朝7時15分までに「一斉メール」でお知らせします。

☆臨時休業や自宅待機の場合は給食はありません。弁当持参もありません。

☆発令解除の場合でも、保護者が危険と判断される場合は、「自宅待機」あるいは「避難」し、学校にtetoruにて一報をお願いします。（インターネット回線が遮断されている場合は、電話等でご連絡ください。）

令和8年5月29日から

【防災気象情報を活用する組織向けのご案内】
～水防担当者の方へ～

洪水予報などの発表情報が変わります

～警戒レベルにあわせて河川氾濫などの情報を発表します～

- ① 防災気象情報の体系・名称を「**レベル〇(災害種別)+(注意報/警戒報/危険警戒報/特別警戒報)**」に変更
(水位周知河川については、レベル〇氾濫+(注意情報/警戒情報/危険情報/発生情報)
※これら防災気象情報は、避難行動に対応した**5段階の警戒レベルに整合**させ、災害発生の危険度の高まりに応じて発表
- ② 避難情報と防災気象情報との関係性に変更が生じるものではありませんが、**避難情報の発令判断に活用する情報の考え方を再整理**
- ③ **河川氾濫のレベル5相当情報**については、**氾濫通報制度を新たに運用**することで**情報を充実**
- ④ 変更された防災気象情報は国土交通省ホームページや**川の防災情報で確認が可能**

①新たな防災気象情報

避難情報（警戒レベル）				防災気象情報（警戒レベル相当情報）					
警戒 レベル	状況	住民が とるべき行動	行動を促す 情報 （避難情報等）	市町村は、 警戒レベル 相当情報 などを参考 に、総合的 に避難指示 等の発令を 判断する	警戒 レベル 相当 情報	河川氾濫		土砂災害	高潮
						洪水予報河川	水位周知河川	急傾斜地の がけ崩れや土石流	海水面上昇や 波の打上げによる浸水
						河川ごと		市町村ごと	
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保		5 相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 氾濫発生情報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞									
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示		4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 氾濫危険情報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難		3 相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 氾濫警戒情報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報		2 相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 氾濫注意情報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	今後気象状況悪化の恐れ	災害への心構えを 高める	早期注意情報		1 相当	早期注意情報			

- ※ 1 レベル5 氾濫特別警戒報とレベル5 氾濫発生情報（高潮の場合はレベル5 高潮特別警戒報とレベル5 高潮氾濫発生情報）は一体的に発表される。
- ※ 2 その他河川については、流域面積が小さく、降雨により急激に水位が上昇する場合があります。レベル3大雨警戒報などの「大雨に関する警戒報」等をもとに避難情報を発令することが基本となるが、水位情報等取得できる場合はそれらをもとにした発令も検討する。
- ※ 3 水路・下水道等については、従前どおり、事前の検討の結果、当該浸水が居住者等に命の危険を及ぼさないと考えられる場合には、基本的には避難情報の発令対象としない。なお、避難情報の発令の対象とする場合は、「大雨に関する警戒報」等を参考に発令基準を設定することが考えられる。
- ※ 4 水防計画に基づきレベル5氾濫発生情報等が発表されるその他河川・下水道については、レベル5緊急安全確保の参考にする。

②避難情報の発令判断に活用する情報の基本的な考え方

●レベル5 緊急安全確保

「確認情報」や「計測情報」をもとに判断することを基本とするが、その確認に時間を要する場合等は、精度を十分に考慮しつつ「推定・予測情報」も活用。

●レベル4 避難指示

「確認情報」や「計測情報」に加えて「推定・予測情報」も活用。特に、中小河川の氾濫や高潮など短時間のうちに急激に状況が悪化することが見込まれる場合には、発令判断が遅れないように「推定・予測情報」を有効活用。

●レベル3 高齢者等避難

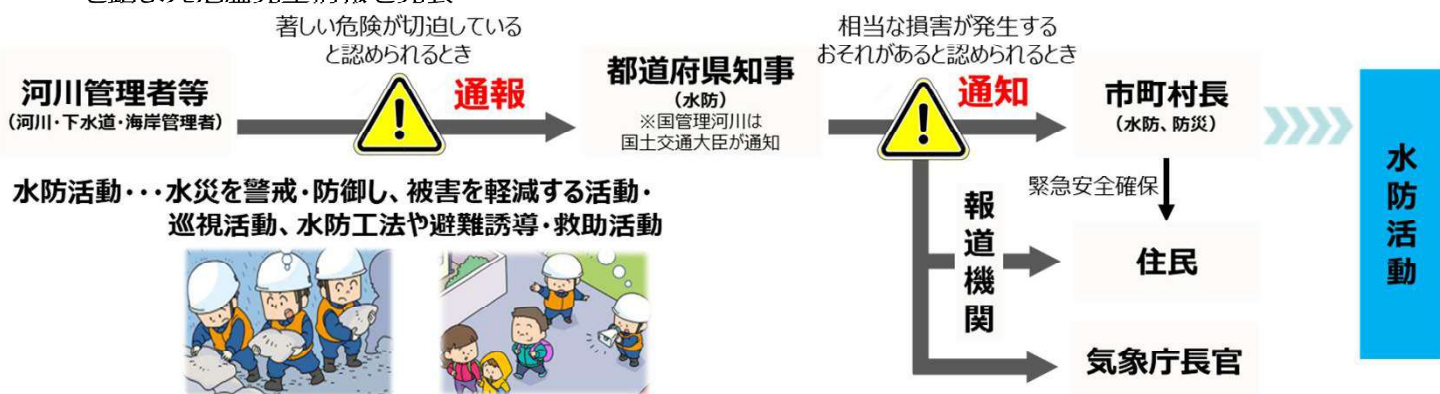
災害発生までの時間が長いことから、「確認情報」や「計測情報」を活用することが困難であることが多いため、「推定・予測情報」を活用。

高 情報 の 確 度 低	●確認情報	目視やカメラ画像で氾濫発生や堤防等の施設状況を確認した情報など
	●計測情報	水位計等で計測した水位の実況値など
	●推定・予測情報	河川の水位予測や降雨予測、降雨予測等を元に災害発生の危険度を推定する気象警戒報や洪水キキクルなど

③ 氾濫通報制度

▷ 河川管理者等による氾濫等の通報を活用して洪水予報河川としてはレベル5 氾濫発生情報を発表。

※従来は氾濫が確認された場合のみ氾濫発生情報を発表していましたが、今後は水位や施設の状況等を踏まえ氾濫発生情報を発表



④ 防災気象情報の確認方法

▷ 国土交通省では、大雨や洪水などの災害リスクが高まるときに、「警報」などの防災気象情報や水位情報を発信。国土交通省のホームページ等では、これらの避難情報の発令の判断に役立つ情報を自ら確認することが可能。

※例えば、危険警報が出ていない場合でも、地域の実情を踏まえ水位等から避難指示を発令することが必要

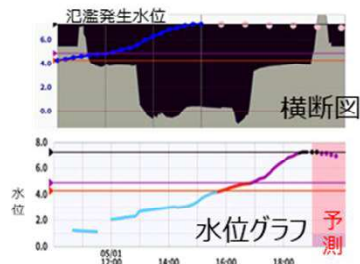
主な情報の種類

- ◎ 気象警報・注意報 (大雨・土砂災害・氾濫・高潮など)
- ◎ 時系列情報 (明日までの警報等の見通し)
- ◎ 早期注意情報 → 災害の兆しを早めにお知らせ
- ◎ 水位の情報
- ◎ キキクル など

川の防災情報

河川水位

国・都道府県の水位情報が確認可能。水位が上昇すると着色強調表示。



ダム情報

ダムの貯水位等が確認可能。ダムの操作状況に応じて着色強調表示。



ライブカメラ

国・都道府県のカメラ画像。平常時画像と並べて状況の確認が可能。

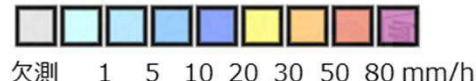


洪水予報等

指定河川洪水予報 (国・都道府県) 及び水位到達情報 (国のみ) が確認可能。情報が発表されている河川を着色表示。

レーダ雨量

国土交通省のXRAINによる250mメッシュ、リアルタイムな降雨状況。



<https://www.river.go.jp/index>